

YATA JUNIOR HIGH SCHOOL

ほけんだより

2018-9

平成 31 年 2 月 12 日

大阪市立矢田中学校

健康教育部

麻しんについて

予防接種は 2 回受けていますか？

あべのハルカスの店員さんが感染したニュースが出ています

「麻しん」って何？

麻しんは、「はしか」ともいわれ、感染症の一つです。

その感染力はとても強く、体育館に 1 人麻しんの患者がいると、そこにいる全員が麻しんウイルスを吸い込んでしまうほどと言われています。

「麻しん」の症状は？

10～12日の潜伏期間（症状はないけれど、ウイルスが増えて全身に広がる期間）のあと、38度台の発熱、せき、のどの痛み、体がだるいなど、かぜのような症状が4～5日続きます。

そのあと、口の中の奥歯の横付近の粘膜に白いぶつぶつ（コプリックはんと言われます）がで始めます。

このころ、一時的に体温は37度台くらいになりますが、ほとんどの人が翌日から首すじや顔に発しん（赤いぶつぶつ）が出始め、再び39～40度台の高熱が3～4日続きます。

1週間近くの高熱のため、体力が消耗し入院しなければならないこともあります。

さらに、麻しんは合併症を起こすこともあります。肺炎や脳炎、中耳炎、心筋炎などです。医療が発達した現代でも、およそ1000人に1人は命を落とすと言われています。また、感染後約10年後に極めて重症の脳炎を起こすこともあります



pixta.jp - 10879709

「麻しん」は予防接種が大事！

「麻しん」は、2回予防接種を受けていると、ほぼ100%の免疫力ができると言われています。中学生の皆さんは、1歳の時と小学校入学前の2回、定期予防接種を受ける機会があります。つまり、確実に2回麻しんの予防接種を受けていれば、麻しんにかかる確率は極めて低いのです。しかし、予防接種を受けることができなかったり、1回しか受けていない場合は、完全に予防することは難しいのです。

以前に、麻しんの予防接種が十分できていない時期がありました。現在20代～40代の人たちです。今回麻しんに感染したあべのハルカスの店員さんも20代です。

おうちの人もいっしょに、麻しんの予防接種を2回受けたか確認してみてください。

海外では、麻しんの予防接種歴がないと入れない国や地域もあります。それくらい、麻しんは注意が必要な感染症なのです。

